

4月3日：原油価格の反発から投資家心理が改善しベトナム株は上昇

ベトナム株は金曜日も続伸、原油価格の反発がエネルギー関連銘柄を押し上げ、市場全体の投資家心理も改善した。

ホーチミン取引所のVN指数は3.17%高となり701.80ポイントで取引を終えた。

直近3営業日で6%ほどの上昇となった。

ハノイ取引所のHNX指数は2.34%高の97.84ポイントで取引を終えた。

同指数は水曜日には3.21%ほど上昇していた。

木曜日は祝日のため休場となっていた。

VN指数とHNX指数の週間上昇率はそれぞれ0.82%、0.50%となった。

出来高は2億8600万株で売買代金にして4兆ドンほどであった。

相対取引では2億4200万株、売買代金にして3兆ドンほどが取り引きされた。

午前中は下落していたが、原油価格の反発から株式市場も上昇に転じ、3営業日連続の上昇をもたらした。

ブレント原油先物は9%高の32.63ドル/バレル、WTI原油先物は4.8%上昇し26.53ドル/バレルで取引された。

ペトロベトナムガス(GAS)、ペトロベトナムドリリング(PVD)、ペトロベトナムテクニカルサービス(PDS)は5.5-9.6%ほど上昇した。

同セクター指数は6.1%高となった。

エネルギー関連の上昇が証券、IT、不動産、小売、銀行などのその他のセクターにも好影響を及ぼした。

それらのセクター指数は2.9-6%ほど上昇した。

VN30指数は3.24%高となり、30銘柄がの内の29銘柄が上昇した。

外国人投資家は売り越し、両取引所で合計 4900 億ドンを売り越した。ビングループ (VIC)、ビンコムリテール (VRE) などに売りが集まった。

投資家心理は直近 7 営業日の 6 日間上昇していることから改善してきていると Thanh Cong 証券はデイリーレポートで語った。

しかし、反発は短期的なものでベトナムでの感染者増と経済への悪影響に対する懸念が無くなったわけではないと同社は語った。

第一四半期の弱い決算は市場の反発を妨げられると思われる。そして、感染者の増加の行方がやはり投資家心理に影響を与えるだろうと同社は予想した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。